

令和元年度 三好市立学校評価報告書

学校名(三好市立山城中学校)

1 総括評価

評価分野	自己評価(平均値)	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 学校経営及び学校運営に関する評価	2.6	運営上の課題を確認した1年であった。それに対する手立てが不十分であった。学校全体で人権教育の研修をすることができた。	社会の変化に対応できる教育を実践する。保護者や地域の人が参加しやすい学校環境を整える。	それぞれの経験に応じた教職員の役割を意識した運営を行う。開かれた学校づくりに心がける。
② 教育目標及び教育計画に関する評価	3.0	一人一人が輝ける学校をめざして取り組んできた。その中で子どもたちが活躍できる場を設定することができた。	生徒数減少により実施形態を考え直さなければならない行事もある。それでも、地域とのつながりは大切にしてほしい。	子どもが活躍できる場の設定、方法の教授、評価のサイクルを実践し成長を促す。
③ 主要な教育活動に関する評価	3.2	自分の意見を発表できる子どもが育っている。いじめはないが、不登校生徒への支援がもっと必要である。	わかりやすい授業の展開に対してよく工夫がされているが、より一層の学力向上に対する取組を望む。通学路の安全確認が必要。	通学路の安全について、教職員の共通理解を図る。基礎学力定着のための継続的な取組を行う。
④ 保護者及び地域との連携等に関する評価	3.0	様々な手段で広報活動ができた。地元の人々の協力で地域資産に触れることができた。外国から移り住んでいる人たちからの聞き取りにより国際理解学習ができた。	保護者が参加しやすい活動を増やす。福祉活動やボランティア活動など、積極的に地域に出かけていく。	地域にはたらきかけ、コミュニティとしての学校のあり方を探る。
⑤ その他、上記以外に関する評価(教職員の協働体制の確立)	2.7	個の経験や能力に頼ることが多く、十分な役割分担ができていなかった。		目的や計画、実践内容を整理し、教職員間の共通理解を図る。

- (1) 評価基準については、次の通りとする。
- 評価基準 4=達成度が 90～100 %
 3=達成度が 70～ 90 %
 2=達成度が 50～ 70 %
 1=達成度が 50% 未満

- (2) 総括評価表の「評価(平均値)」については、「2 分野別評価」の1～5の評価をそれぞれ平均(小数第1位)したものとす。
- (3) 総括評価の「評価分野」及び分野別評価の「評価項目」の「その他」については、各学校において必要事項を記入のうえ評価する。
- (4) 分野別評価の「自己評価結果の概要」欄については、特に評価が 4 及び 1 について記入する。
- (5) 総括評価及び分野別評価の「学校関係者評価の概要」欄は、学校関係者評価委員会において評価された結果をまとめたものを記入する。
- (6) 「次年度の改善策」の欄は学校評価委員会及び学校関係者評価委員会において協議された改善策をまとめたものを記入する。